







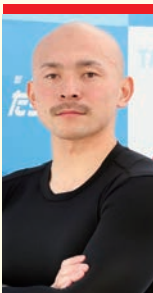
嵯峨昇喜郎 / 青森

今年は低空飛行が続いていたが、4月に入り優参率が急上昇。F1戦は4場所続けて予選、準決はすべて連に絡んでいる。地元戦のここも躍動するか。



成田和也 / 福島

2連勝。この位置取りが強い。4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



河合佑弥 / 東京

このところ予選は大きな数字を並べていたが、4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



谷口友真 / 大阪

なかなか調子が戻らなかったが、3月に入り準決での連がらみが増え6月玉野ではV。武器の機動力が甦ってきたので、上位戦でも好勝負が期待できる。



小原丈一郎 / 青森

長谷部龍一は一年間、S級を張っていたが、時おり大駆けもあつたものの、小原に比べると見劣りする成績だった。余程タイムングよく仕掛けるのは難しいか。



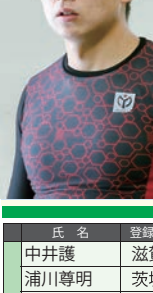
成田和也 / 福島

2連勝。この位置取りが強い。4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



河合佑弥 / 東京

このところ予選は大きな数字を並べていたが、4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



谷口友真 / 大阪

なかなか調子が戻らなかったが、3月に入り準決での連がらみが増え6月玉野ではV。武器の機動力が甦ってきたので、上位戦でも好勝負が期待できる。



小原丈一郎 / 青森

長谷部龍一は一年間、S級を張っていたが、時おり大駆けもあつたものの、小原に比べると見劣りする成績だった。余程タイムングよく仕掛けるのは難しいか。



佐伯亮輔 / 岡山

このところ自力攻撃が冴えている。5月は四日市でピンピンで優参すると、函館記念は敗者戦ながら2連対を果たした。大駆けの魅力を秘めている。



和田真久留 / 神奈川

このところ自力攻撃が冴えている。5月は四日市でピンピンで優参すると、函館記念は敗者戦ながら2連対を果たした。大駆けの魅力を秘めている。



上田亮弥 / 熊本

低空飛行が続いていたが、徐々に上向いてきた感がある。4月富山、5月小倉と続けて決勝に進出した。上位戦でも先行力を発揮できれば悔れない。



小柳智徳 / 長崎

準決を乗り切れない場所が多かったが、5月西武園では3連勝で1、2班戦の初Vを飾った。これで自信を付けたようなら今節も大暴れが期待できる。



箱田優樹 / 青森

12年ぶりにA級に降格したのは箱田優樹ながら、力そのものは落ちている。4月伊東で161着と2勝をあげると、5月は3場所走って3勝。S級でもしつかり勝っている。地元で優勝を譲る訳にはいかない。自力で勝負しても十分に優勝を狙えるが、橋本智昭との連係が叶うようなら、更に優勢は拡大する。橋本も失格がたつて今期はA級。前期の競走得点は99点台で、連対の決まり手は約7割が先行なら、箱田と同様に地力低下はない。マイペースなら押し切りも可能だろう。



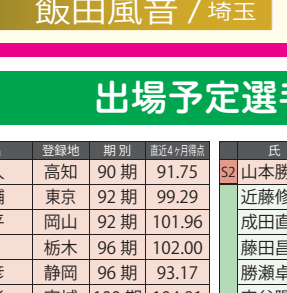
飯田風音 / 埼玉

自力攻撃が冴え渡る飯田風音が優勝が一番近い存在だ。久留米オールガールズクラシック151着。予選で尾崎睦、奥井迪らを撃破すると、最終日は坂口楓、山原さ、小林優らの強豪を相手に2勝目をあげた。これで自信をつけたのか、5月小田原から破竹の4連覇を達成。今の勢いなら中心視は順当だろう。



宇野紅音 / 岐阜

まだ優勝経験はないものの、5月大宮、同月別府と続けて準V。大宮の決勝は飯田風のまくりに食いついた。うまく流れに乗れると上位進出が望める。



飯田風音 / 埼玉

自力攻撃が冴え渡る飯田風音が優勝が一番近い存在だ。久留米オールガールズクラシック151着。予選で尾崎睦、奥井迪らを撃破すると、最終日は坂口楓、山原さ、小林優らの強豪を相手に2勝目をあげた。これで自信をつけたのか、5月小田原から破竹の4連覇を達成。今の勢いなら中心視は順当だろう。

FI WinTicket杯

7/10 11 12



泉谷元樹 / 愛知

やや末脚を欠いての2、3着が目立つものの、最近では先行できているレースが多い。同格戦は連の対象から外せないし、6月奈良123着のような大駆けも。



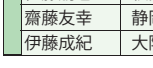
金澤竜二 / 福島

2連勝。この位置取りが強い。4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



河合佑弥 / 東京

このところ予選は大きな数字を並べていたが、4月富山から、5月西武園まで、予選を3連勝。ようやく調子が戻ってきたので、同格戦はアタマで狙える。



谷口友真 / 大阪

なかなか調子が戻らなかったが、3月に入り準決での連がらみが増え6月玉野ではV。武器の機動力が甦ってきたので、上位戦でも好勝負が期待できる。

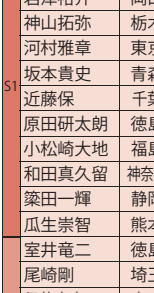


小原丈一郎 / 青森

長谷部龍一は一年間、S級を張っていたが、時おり大駆けもあつたものの、小原に比べると見劣りする成績だった。余程タイムングよく仕掛けるのは難しいか。

FI スポーツニッポン杯

7/4 5 6



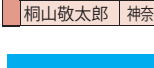
佐伯亮輔 / 岡山

このところ自力攻撃が冴えている。5月は四日市でピンピンで優参すると、函館記念は敗者戦ながら2連対を果たした。大駆けの魅力を秘めている。



和田真久留 / 神奈川

このところ自力攻撃が冴えている。5月は四日市でピンピンで優参すると、函館記念は敗者戦ながら2連対を果たした。大駆けの魅力を秘めている。



上田亮弥 / 熊本

低空飛行が続いていたが、徐々に上向いてきた感がある。4月富山、5月小倉と続けて決勝に進出した。上位戦でも先行力を発揮できれば悔れない。



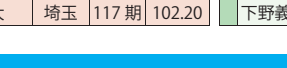
小柳智徳 / 長崎

準決を乗り切れない場所が多かったが、5月西武園では3連勝で1、2班戦の初Vを飾った。これで自信を付けたようなら今節も大暴れが期待できる。



箱田優樹 / 青森

12年ぶりにA級に降格したのは箱田優樹ながら、力そのものは落ちている。4月伊東で161着と2勝をあげると、5月は3場所走って3勝。S級でもしつかり勝っている。地元で優勝を譲る訳にはいかない。自力で勝負しても十分に優勝を狙えるが、橋本智昭との連係が叶うようなら、更に優勢は拡大する。橋本も失格がたつて今期はA級。前期の競走得点は99点台で、連対の決まり手は約7割が先行なら、箱田と同様に地力低下はない。マイペースなら押し切りも可能だろう。



飯田風音 / 埼玉

自力攻撃が冴え渡る飯田風音が優勝が一番近い存在だ。久留米オールガールズクラシック151着。予選で尾崎睦、奥井迪らを撃破すると、最終日は坂口楓、山原さ、小林優らの強豪を相手に2勝目をあげた。これで自信をつけたのか、5月小田原から破竹の4連覇を達成。今の勢いなら中心視は順当だろう。



宇野紅音 / 岐阜

まだ優勝経験はないものの、5月大宮、同月別府と続けて準V。大宮の決勝は飯田風のまくりに食いついた。うまく流れに乗れると上位進出が望める。



飯田風音 / 埼玉

自力攻撃が冴え渡る飯田風音が優勝が一番近い存在だ。久留米オールガールズクラシック151着。予選で尾崎睦、奥井迪らを撃破すると、最終日は坂口楓、山原さ、小林優らの強豪を相手に2勝目をあげた。これで自信をつけたのか、5月小田原から破竹の4連覇を達成。今の勢いなら中心視は順当だろう。

キャッシュレス投票moricaカード【青森競輪・青森前売SC・藤崎場外】

【スマートフォン投票 T-Linkageの受付】※藤崎場外のみで受付

詳しくはこちら→

